市内で行われたイベントや行事、まちの話題を写真と一緒に紹介します。
また、みよし市ホームページでは「Topics（まちの話題）」と「市政番組『みよしTODAY』動画配信」でイベントや行事の様子を紹介しています。http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp

同世代で笑顔の国際交流

コロンバス市の学生みよし市来訪

友好都市アメリカインディアナ州コロンバス市で日本語を学んでいる高校生14人と引率者4人が6月3日から7日までみよし市を訪れました。来訪団は期間中、みよし市内のホストファミリーの元で日本の生活を体験。4日には三好高校へ体験入学し、高校生たちと一緒に書道の授業を受けたり、昼食を一緒に食べたりしてお互いに交流を深めました。その後、弓道や剣道といった日本古来の伝統武術や、茶道の体験を通して日本文化に触れました。三好高校での体験を終えたコロンバスの生徒たちは「日本の高校生の皆さんと一緒に、おしゃべりしながらご飯を食べたのがとても楽しかったです」「三好高校の皆さんは気さくでとても素敵な人たちでした」とそれぞれ話し、同世代の生徒たちとの交流を心から楽しんだ様子でした。

ふかふか芝生の園庭になーれ

園庭の天然芝生化（すみれ保育園）

今年度から順次実施される保育園庭の天然芝生化。そのモデル園として6月12日、すみれ保育園で芝生植えの作業が「園庭植樹祭」と題して行われました。この日参加したのは園児や保護者、地元の皆さんなどおよそ120人。初めに市長が「今日はお休みにもかかわらず、多くの皆さんに集まっていただきました。日差しが強いので体調に気をつけながら作業をお願いします」とあいさつ。その後、講師から芝生の植え方を教わり、早速芝植えを開始しました。今回の芝生化事業は芝生を小さな鉢に分けて育て、50センチおきに点々と植える「鳥取方式」と呼ばれる方法を採用。園庭全面に芝生を植える方法よりも時間がかかりますが、植える面積が少なくすむため低コストで実施できるのがポイントです。参加者は家族で協力しながら1,300個の芝生の鉢をおよそ30分ほどで植えて作業終了。順調に生育が進めば秋の運動会は芝生の園庭で実施できる予定です。

力のこもった大一番

三吉小学校すもう大会夏場所

毎年恒例の三吉小学校すもう大会夏場所が６月４日、三吉小学校校庭の土俵で行われました。子どもたちに相撲を体験してもらおうと、昭和57年の第1回大会から毎年夏と秋の2場所開催されている伝統あるこの大会。1年生から5年生まで各クラス男女1人ずつと6年生各クラス男女2人ずつの合計28人のクラス代表横綱が、全校児童が見つめる中、堂々と土俵入りしました。体育委員の児童から競技についての注意事項の説明が行われた後、1年生から5年生までの各学年男女別優勝決定戦と、6年生男女4人ずつによるトーナメント戦で熱戦を展開。力の入る取り組みの連続に、会場からはクラスの代表を応援する児童たちの大きな声援が飛んでいました。

ずっと住み続けたいと思えるまちに

安全なまちづくり推進大会・環境美化推進大会

交通安全や防犯、防災、環境美化など安全で住みよいまちづくりを進めようと6月12日、安全なまちづくり推進大会・環境美化推進大会がサンアートで行われました。初めに久野知英（くのともひで）市長が「安全で安心して住み続けることができる地域となるよう、今後ともご理解ご協力をお願いします」とあいさつ。その後、交通安全や生活安全など安全なまちづくりの推進やごみの減量など、環境美化の推進に尽力した個人や団体を表彰。続いて、習字やポスターの作品入賞者に対する表彰を行いました。参加者は表彰者に対し盛大な拍手を送るとともに、交通安全や防犯、防災、環境美化に対する意識を再確認していました。

きれいに磨けたかな？

よい子の歯磨き指導

正しい歯磨きの仕方を覚えてもらおうと6月4日、莇生（あざぶ）保育園で「よい子の歯磨き指導」が行われました。始めに、保健師さんが「おじいちゃん、おばあちゃんになっても健康な歯でいるために、毎日しっかり磨きましょう」とあいさつ。参加した39人の年長園児たちは元気よく「はい」と手をあげて答えました。その後、歯垢（しこう）染め出し液を使って磨き残しが無いか確認。園児たちは初めての体験に友達同士で赤くなった歯を見せ合っていました。最後に歯の磨き方指導を受けた園児たちは、保健師さんからそれぞれ歯の磨き方の合格をもらうと満面の笑みで喜んでいました。園児の男の子は「磨くのが上手だねと褒められたんだよ」とうれしそうに話しました。

夏を告げるプールの歓声

プール開き（中部小学校）

夏に向けて徐々に気温の上がり始めた6月7日、市内の各小学校でプール開きが行われました。中部小学校では、全校児童が待ちに待った初泳ぎを楽しみました。午後の授業でプールに入った２年生児童およそ60人は、歓声を上げて元気そのもの。先生の吹く笛に合わせ、全員が同じ方向に回ることでプール内に流れを起こして遊んだり、水を掛け合ったりしてどの子も満面の笑顔。けれども、プールから上がるとまだ肌寒さの残る、あいにくの曇り空。授業が終わると児童たちが温水シャワーからなかなか動こうとせず、先生からせかされる一幕もあるなど、暑い夏が一段と待ち遠しく感じるプール開きとなりました。児童の一人は「プールの授業が一番好きです。早くまた入りたいです」とうれしそうに話していました。

あこがれの選手と夢の練習

バスケットボールクリニック

みよし市に隣接する刈谷市を拠点としてバスケットボールW（女子日本）リーグで活躍中の「デンソーアイリス」の選手たちが地域活動の一環とし行っている、バスケットボールクリニックが6月12日、北中学校体育館で行われました。この日は市内外のバスケット部やクラブチームの女子、およそ70人が参加しました。クリニックはアイリスのコーチがオフェンスやディフェンス一つ一つのプレーの意味などをわかりやすく解説し、それを現役選手13人が目の前で実践する方法で行われました。生徒たちは選手の動きを参考にして、ボールの持ち方やドリブルの仕方などを練習。体育館の各所で選手がマンツーマン指導したり、積極的に選手に声を掛けてテクニックを教えてもらう生徒の姿が見られました。